

須賀川市立義務教育学校「稲田学園」学園だより

とう うえん
稲雲

第 5 号

令和4年 6月13日発行

発行者：校長 小貴 崇明



○岩瀬支部中体連総合大会で大活躍！

5月31日（火）から6月2日（木）にかけて、岩瀬支部中体連総合大会が開催されました。稲田学園は、野球、卓球、バドミントン、ソフトテニスの4つの種目に出場し、それぞれ県中大会への進出を目指して素晴らしい活躍を見せてくれました。主な結果は以下の通りです。

【野球】 1回戦 対仁井田中 21-1 勝利
2回戦 対長沼中 1-16 惜敗



【卓球】 予選リーグ 3勝1敗でリーグ2位通過
決勝トーナメント 対須二中 2-3 惜敗
代表決定戦 対鏡石中 3-1 勝利※5位で県中大会へ



【バドミントン】女子団体 予選リーグ2勝0敗でリーグ1位通過
準決勝 対須二中 2-0 勝利
決勝 対仁井田中 2-0 優勝※県中大会へ

女子個人シングルス 優勝 ●● ●●（8年）※県中大会へ

同 ダブルス 優勝 ●●●●（9年）・●● ●（9年）※県中大会へ

男子個人シングルス 2位 ●● ●●（9年）※県中大会へ

【ソフトテニス】 予選リーグ 0勝2敗で惜しくも敗退



特に、バドミントン女子は団体、シングルス、そしてダブルスをすべて制し「完全優勝」を達成しました。表彰式では、校長より今回の大会に向けて努力した経験は、たとえ県中大会に進出できなくても尊い経験であること、今回の経験を生かし、次の大会はもちろん学校生活全般でも目標をしっかりと意識し努力を積み重ねてほしいと話しました。

○ボランティアの皆さんによる「お話し会」



今年度のお話し会（読み聞かせ）が6月9日（木）より始まり、今年度にご協力いただけるボランティアさんが1名増え、5名で実施できることになりました。

学年や絵本の内容によって、話にじっくり耳を傾ける学年もあれば、ボランティアさんの問いかけに積極的に発言する学年もありました。それぞれのクラスで様々な物語を楽しんでいました。子どもたちは読み聞かせを楽しみにしています。

○PTA奉仕作業で校地内が本当に美しくなりました



6月4日（土）、第1回PTA奉仕作業を実施しました。多くの保護者の皆様に参加いただき、校舎周辺の草刈りなどを行いました。また、環境整備部の皆様には準備や片付けなどもお世話になりました。お陰様で、通学路や校庭、駐車場などがとてもきれいになりました。

朝早い時間の作業でしたが、ご協力いただきありがとうございました。

○オンラインによる「喫煙防止教室」

6月6日（月）、7年生を対象に喫煙防止教室を実施しました。感染症予防策がとられ、オンラインで坪井病院の副院長先生よりご講演をいただきました。福島県の喫煙の実態や受動喫煙などについて、具体的である意味「衝撃的」なお話を聞くことができました。これからも本校では健康教育の一環で喫煙防止教育を実施していきます。



○「獣医師派遣事業」～2匹の犬に癒やされた子どもたち～

6月2日（木）、2年生を対象に獣医師派遣事業が行われ、3名の講師の先生と2匹の犬が稲田学園に来てくれました。講師の先生からは、動物の飼い方や接し方についてのお話を聞き、実際に犬に触れる体験もしました。また、聴診器を使って犬の心臓の音も聞かせてもらいました。心臓の音を聞いた子ども達は、犬も人も同じように生きていることを実感することができました。2年生の作文を紹介します。

「犬のちびにさわったら、ふわふわしてたし、めっちゃかわかったです。こんどはぼくもかってみたいなあと思いました。わんちゃんのしんぞうの音を聞いて、ドクドクって聞こえました。犬のちびちゃんのふくに「ちび」ってかいてあったのが、すごいかわかったです。・・・(後略)」



★言葉と生きる(5)「木は光を浴びて育ち、人は言葉を浴びて育つ」

今月に入って、まだ梅雨入りはしていないはずですが、雨の日が続いています。ただ、少しでも晴れてくると、校庭や近隣の木々が光り輝き、同時に私たちの心までもが輝くように元気になっていきます。そんなことを感じていたら、今回紹介する言葉を思い出しました。

植物の成長にとって光が大切なように、言葉は人が成長していく上で何よりも大切なものです。さらに言うと、どんな言葉を浴びて育っているかどうかは大きな問題だと思っています。我々大人（教師も親も家族も）が、「言葉が心の栄養となり子どもを育てる」という意識を持つことが大切であり、攻撃的だったり、否定的だったり、無責任な言葉を子どもたちに浴びせていないか常日頃から注意することが重要です。優しさという栄養たっぷりの言葉を子どもたちに浴びせて、心も体もすくすくと育てていこうではありませんか。